



2011年11月29日
在日米国商工会議所

ACCJ 会頭にマイケル・アルファントを再選出

在日米国商工会議所（ACCJ）は、2012年会頭としてマイケル・アルファントを再選出しました。

アルファント会頭は、「ACCJの会頭に再選出されましたことを大変光栄に思います。また、同じく今回の選挙で選出されました理事の皆様に祝意を表すとともに、今後も引き続きACCJのミッションであります『日米の経済関係のさらなる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化』を実現するよう協力し合いながら、積極的に取り組んで参ります。」と述べました。

また、「3月11日に発生した未曾有の悲劇に見舞われた日本にとって、今年はとても困難な年であったと思います。またそれは、数十年以上にわたり日本に住み、働き、栄え、そして日本を“ホーム”として親しんできたACCJメンバー企業および会員にとっても、非常に大きな影響を与えました。ともに厳しい状況に面している中、私たちは出来る限りの協力をして参りました。そして今後も引き続き、ビジネス面においても人道的な面においても、日本のビジネスコミュニティの一員として、全面的に支援することを約束致します。」と述べました。

さらにアルファント会頭は、「任期2年目に入る2012年は、特に、3月1日および2日に開催される『米国アジア太平洋地域ビジネス・サミット』に向けて精一杯努めて参りたいと思います。同サミットを日本が主催するのは実に20年ぶりのことであり、とても楽しみであります。同サミットのために、米国およびアジア太平洋地域より大勢のビジネスリーダー、そして政府関係者が来日し、日本はこれまでと同様に世界で最も力強く、また、活気のある経済大国であり、『ビジネスの活動先として開かれている』ことを世界に知らせることが出来ると期待しています。」

また、ACCJでは、同時に、副会頭、理事、財務理事を選出した。2012年の役員一覧は以下のとおり。

財務理事

< 新規選出 >

- ジャック・E・バード（プライスウォーターハウスクーパース パートナー）

副会頭**< 新規選出 >**

- ジェフリー・S・バーニアー (デルタ航空 太平洋地区営業統括本部長兼日本支社長)

< 再選出 >

- アンドリュー・J・コンラッド (アフラック・インターナショナル・インコーポレーテッド シニアバイスプレジデント、法律顧問)

< 現任 >

- ローレンス・ベイツ (日本GE グローバル・グロス&オペレーション ゼネラル・カウンセル)
- ヴィッキー・バイヤー (モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 エグゼクティブディレクター)
- ジム・ワイザー (PBXL株式会社 代表取締役社長)

理事**< 新規選出 >**

- ブルース・エルズワース (ジョンソン・エンド・ジョンソングループ 政府機関・医療政策日本担当 ディレクター)
- クリストファー・J・ラフルアー (LMアソシエツ 代表)
- パトリシア・ロビンソン (一橋大学 准教授)

< 再選出 >

- マイケル・J・デントン (ボーイング ジャパン 社長)
- タッド・ジョンソン (P&Wアフターマーケットジャパン株式会社 ゼネラル マネージャー)
- 吉村幸雄 (シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社 執行役員 ガバメント・アフェアーズ担当)

< 現任 >

- ニコラス・ベネシュ (株式会社ジェイ・ティ・ピー 代表取締役)
- バリー・バーグマン (ユナイテッド航空会社 日本地区 旅客営業統括本部長)
- ダレン・マッケレン (ベライゾン ビジネス 第四営業本部長)
- エリック・セドラック (ジョーンズ・デイ法律事務所 パートナー、外国法事務弁護士)
- 杉原佳堯 (インテル株式会社 法務・渉外統括本部 渉外兼政府渉外部長)
- 寺村光代 (フェデラル エクスプレス 政府渉外担当本部長)

関西支部**副会頭 < 新規選出 >**

- キラン・S・セディ (株式会社 ジュピター インターナショナル コーポレーション 専務取締役)

理事 < 再選出 >

- アルフォンゾ・G・ズルエッタ (日本イーライリリー株式会社 代表執行役社長)

監査役 < 新規選出 >

- ハーマン・J・アーリック (ヒルトン大阪 総支配人)

中部支部

副会頭 < 現任 >

- クリス・ザラドカウィッツ (シーザースインターナショナル株式会社 代表取締役社長)

理事 < 現任 >

- ジェイソン・モーガン (ティーエムジーインターナショナル有限会社 代表取締役社長)

監査役 < 現任 >

- 水原麻希 (ウォールストリートアソシエイツ株式会社 名古屋代表)

以上

< マイケル・アルファント会頭 経歴 >

マイケル・アルファントは、東京に本社を置き、上海、香港、シンガポール、ロサンゼルスに展開する、フュージョン・システムズグループのグループ会長兼CEOです。フュージョン・システムズはアジアで最も急成長を遂げているビジネステクノロジー及びシステムコンサルティングにおけるリーダーの一つです。アルファント氏は、ニューヨーク市立大学においてコンピュータサイエンスの学士号を取得しています。

1992年、彼は日本フュージョンシステムズというITソリューション会社を設立しました。少数の熱心な企業家の集まりから出発したこの会社はやがて東京、ボストンにオフィスを持つ多国籍企業へと発展し、1999年3月には、アルファント氏はIMRglobal (NASDAQ: IMRS)による\$60Mで日本フュージョンシステムズの買収に成功しました。

アルファント氏は在日米国商工会議所の会頭であると共に、日米両国の上場企業の取締役を務め、アメリカ、日本の主要な大学にて頻繁に講演も行っています。

アルファント氏はまた、テクノロジーに関する様々な問題に対して積極的に取り組んでおり、ビジネス界の人々が常に進化を遂げる競争率の高い環境に対応していく上での鍵となる、新たなテクノロジーに重点を置いています。

アルファント氏はアジアにおけるビジネス及びテクノロジー分野におけるアドバイザーとして必要不可欠な存在であり、アジアを訪れるアメリカ政府の代表者及び企業の重役に対して、その状況を頻繁に伝えています。

フュージョン・システムズ・ジャパンに携わる以前、アルファント氏はAT&T Bell Labs, Bankers Trust, UBS, Security Pacific, Citibank, EF Hutton, the Federal Reserve Bank of New Yorkなどにおいて、様々な技術的な役割を担ってきました。

#

1119 J

- 在日米国商工会議所について -

在日米国商工会議所 (ACCJ) は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間400以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任 (CSR) 活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室メディアコーディネーター 野田由比子 (電話: 03-3433-6542; メール: ynoda@accj.or.jp) までお願い致します。